

2025 年 6 月 27 日
電源開発株式会社

第 73 回定時株主総会 インターネットでの事前のご質問に対する回答につきまして

第 73 回定時株主総会にあたり、インターネットにてお受けいたしましたご質問につきまして、下記の通り回答申し上げます。

1	当社の株価対策・株主還元について 当社 PBR の低迷要因は、大間原子力と火力トランジションという中長期的課題の存在、足もとでは収益性の低迷も加わっていると認識しています。 中長期的課題については引き続き予見性向上に取り組むとともに、当社事業固有リスクへの対応に関する開示の充実、市場との対話に継続して取り組みます。 また、中期経営計画 2024-2026 で掲げた経営目標の達成に向けて収益力を高めつつ、ROIC を指標とし資本効率向上に向けた取り組みを進めます。 今回「総還元性向」の考え方を導入し、配当に加えて、機動的な株主還元が可能となる自己株式取得を還元手法として取り入れました。今回の自己株式取得は、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）も含めた取得手法等の検討や準備のため、開始まで一定期間を設けています。配当については、当社にこれまで減配の実績はなく、安定的かつ継続的な配当を基本方針として掲げています。2024～2026 年度を対象とした現中期経営計画において、対象期間中は年間 100 円の配当を下限とし、減配しないことを明確化しています。
2	大間原子力発電所計画について 当社は、大間原子力発電所のできるだけ早期の安全対策工事開始、2029 年後半の工事終了の目標に向けて取り組んでいます。 また、原子力規制委員会の適合性審査においては、2024 年 11 月に基準津波、本年 5 月に基準地震動が概ね妥当との評価を得られたことにより、今後はプラント施設の審査が開始されることになります。引き続き審査対応に全力を尽くしてまいります。
3	取締役の選任について 当社の経営を監督するにあたり必要な実績と経験、見識等を有している方を候補者としています。また、社外取締役は当社が定める「社外役員の独立性判断基準」を満たす者を候補者としています。 各取締役の有する知識・経験・能力等については、招集通知 21 頁-22 頁「取締役の専門性および経験（スキル・マトリックス）」に示しています。 今般、スキル・マトリックスのスキル項目について、従前の項目の統合を行い、定義を明確化しました。マトリックスは、各取締役に必要な専門性や経験のうち主なもの、強みを発揮できる分野を最大 3 つまで記載したものであり、各人に必要な全ての専門性や経験を表すものではありません。

4	株主優待制度について
	当社に株主優待制度はございませんが、3 月末時点で 100 株以上保有する株主様を対象としたアンケートを毎年実施しており、この返礼品である当社オリジナルカレンダーは株主様にご好評いただいております。
5	洋上風力発電の事業性について
	当社は、現在、2つの洋上風力発電事業の建設および開発準備を進めており、昨今の経済環境の変化に対処しつつ事業推進に取り組んでいます。なお、会計監査人から減損の兆候の指摘はございません。
6	核融合発電について
	当社は 2023 年 5 月に、核融合炉関連装置・システムの研究開発およびプラントエンジニアリングを担う京都大学発のスタートアップ企業である、京都フュージョニアリング株式会社に出資しています。当社は出資を通じて同社事業、核融合技術の実現を支援します。
7	協賛について
	当社では、団体や個人の取り組み、イベント、文化活動などの趣旨に共感し、当社の企業認知度向上や事業理解促進等を図ることができると考えられる案件について、協賛を実施しています。2025 年 4 月には、プロバドミントン競技者の渡辺勇大選手と所属契約を締結し、同選手の新たな挑戦を支援しています。

以 上